

入院診療計画書(腓体尾部切除術を受ける患者様へ)

ID番号 @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME 様

@PATIENTWARD 病棟

@PATIENTROOM 号室

病名(他に考える病名)

担当医師 @USERNAME




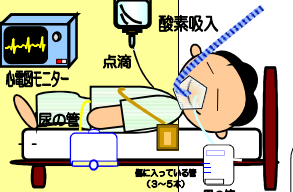








印

担当看護師

症状

担当薬剤師

@SYSDATE

月日	入院日 (/)	術前日 (/)	手術日 (/)	術後	術翌日~術後2日目	術後3日~4日目	術後4~6日目	術後9日~	退院日 (/)
経過	 入院や手術に関して不安があれば、遠慮なく相談してください	検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。	()時に手術室へ移動します	術後はICUに入室します	医師の指示で、水分開始になります	医師の指示で、食事開始になります	少しずつ、日常生活のリズムを戻していきましょう		退院
目標	手術への準備ができています。安心して手術に臨むことができます。	術前日の流れ 1時~絶食 ()時~絶食	朝起きてから手術に行くまでの流れ	術後合併症が発症しない。痛みのコントロールができる。	むせりや吐き気がなく、水分を摂取することができます。	食事を摂取することができる	リハビリがすすむ	日常生活が1人でできるようになる	退院後の注意点が理解できる
検査	手術に必要な検査をします	<input type="checkbox"/> おへその周りの毛があれば処理します <input type="checkbox"/> おへそのうしをします <input type="checkbox"/> 入浴 <input type="checkbox"/> 腕に名前を書きます(医師) <input type="checkbox"/> 準備品の確認をします <input type="checkbox"/> 21時 下剤を内服します(21時以降水分はひかえて下さい) ご不安なときは、ポータブルトイレを用意します	<input type="checkbox"/> 麻酔科医師の指示の内服薬があれば服用してください <input type="checkbox"/> 排便がなければ洗腸をします <input type="checkbox"/> 前あきの下着、病院のパジャマに着がえて下さい <input type="checkbox"/> 弾性ストッキングをはいて下さい ※弾性ストッキングは腫瘍が腫れます <input type="checkbox"/> 化粧やマニキュアを落として下さい <input type="checkbox"/> 眼鏡、めがね、時計、ヘアピン、指輪などを外して下さい <input type="checkbox"/> 髪の毛の長い方はゴムで2つに結んで下さい	術後はICUへ入室します 痛いときは我慢せずに教えてください	レントゲン(胸・腹)→病室でとります 朝、採血があります 毎日、決まった時間に血糖値をはかります	必要に応じて採血・レントゲン写真		採血・レントゲン写真 必要に応じて透視の検査	外来受診について定期受診は必ず行なうようにしましょう。 
処置	基本的に処置はありません  禁煙です!!			 酸素吸入 心電図モニター 点滴 尿管 鼻の管 ※術中に、首から点滴が入ります	ICUから一般病棟へ移ります	痛み止めの管が抜けます 酸素はマスクが外れ鼻からの吸入に変わります 心電図モニターが外れます 胃の管が抜けます 尿管が抜けます	食事摂取量に応じて、点滴を減らします。術後およそ10日目で点滴は終了の予定です。	傷の部分のドレーンが抜けます	以下の症状があるときは、受診日以外でも来院してください。 ・ 腹痛がひどい時 ・ 便やおならがなく、お腹の張りが続いている時 ・ 嘔吐が続き、吐き気がひどい時 ・ 黒い便が出た時 ・ 高熱が出たり微熱が何日も続いたりする時
注射	基本的に注射はありません	 安心安心 			水かお茶がスポーツドリンクのみしてください。野菜ジュースや牛乳は、食事が始まるまで控えてください。	薬は正しく服用し、必ず指示通りに内服して下さい。下剤の内服については、便の回数や状態を見て調節して下さい。心配なときは医師に相談してください。			わからない点、不安な点がありましたら、医師や看護師にご相談ください。
内服	飲んでおられる薬はすべて看護師にお知らせください	普段飲んでいる薬は、術前日もいつもどおり飲んで下さい。中止薬があれば、説明します。							口次回受診まで、必要なお薬が処方されます
食事	入院日の食事制限はありません。食事に際するアレルギーなどはあれば、相談して下さい(希望により、食事変更ができます)例)ご飯・お粥・牛乳・ヨーグルト	術後許可が出るまで、飲んだり食べたりできません			水分が開始になったら、出来るだけ座って飲むようにしましょう。むせたりしないように、注意して飲んで下さい。	このような症状がありましたら看護師にお知らせ下さい。低血糖時の症状 → めまい、冷汗、手足のしびれ、動悸 高血糖時の症状 → 異常に口が渇く	脂っこい食事は、下痢になりやすいです。食べ過ぎず、バランスよく摂取して下さい。		
清潔行動	活動、入浴に制限はありません				シャワーの許可が出るまで体を拭きます	必要に応じて、ポータブルトイレや尿器を用意します ドレーンが抜けてなくてもシャワーの許可がでる場合があります 傷の部分は、こすらず、シャワーで流す程度にしてください	入浴のときは…熱いお湯は体の疲労を伴います。長湯にならないようにしましょう。		
リハビリ	スーフル呼吸訓練行って下さい		麻酔から覚めたら深呼吸をして下さい 血栓予防に足の底背屈運動を行って下さい。 つま先を顔の方へ向ける つま先を伸ばす		術翌日  できれば足を揺らして座ってみましょう 日中ではできるだけ起きてみましょう	術後2日目  立ちましょ 足ぶみましょ 術後3日目~  どんどん歩きましょう 病棟歩行を毎日行いましょう	スーフル呼吸訓練も行って下さい	職場復帰、旅行などは医師に相談して下さい	
説明	病棟での日常生活をご案内します 手術の予定を説明します	<input type="checkbox"/> 麻酔科医師と、手術室の看護師の訪問があります <input type="checkbox"/> 手術後に免疫力が下がるので、肺炎球菌ワクチンの接種の説明が入院中にあります	ご家族の方へ病棟フロアのロビーでお待ちください 離れる場合は、待機場所をお知らせください		点滴や尿管、ドレーンが抜けていませんので、座るときは看護師を呼んで下さい。	初めて歩行する時は、看護師が付き添います。術後早期に歩き始めた方が、回復も早くなります。	口次回予約票を渡します 口リハビリを外します		

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名:

続柄:

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無